

第52回南北海道高等学校選抜 ソフトアーチストテニス大会

期　　日：2026年2月1日（日）

会　　場：函館サーモン・まるなまアリーナ

主　　催：函館ソフトテニス連盟

当番校：函館大学付属有斗高等学校

【大会役員】

大 会 長	道下 邦雄			
副 大 会 会 長	本田 周平	山本 三郎		
顧 問	本間 英一			
参 与	佐々木 豊松	藤原 啓展	勝谷 康広	本間 政治
監 事	山本 芳雄	町田 修		

【大会委員】

大 会 委 員 長	大坪 聰	
総 務 委 員 長	本田 要子	
総 務 副 委 員 長	郷 ひろみ	
競 技 委 員 長	中澤 厚雄	
競 技 副 委 員 長	伊藤 獨平	熊谷 祐哉
競 技 委 員	白尾 拓也	鶴喰 涼
進 行 委 員 長	本庄 茂	
進 行 副 委 員 長	相澤 祐子	
進 行 委 員	鈴木 健太	石川 駿太
審 判 委 員 長	安田 礼史	
審 判 副 委 員 長	國友 康汰	
記 録 委 員 長	白戸 裕子	
記 録 副 委 員 長	長谷 優	
記 録 委 員	伊勢 ちなみ	田中 彩紀

【開 会 式】

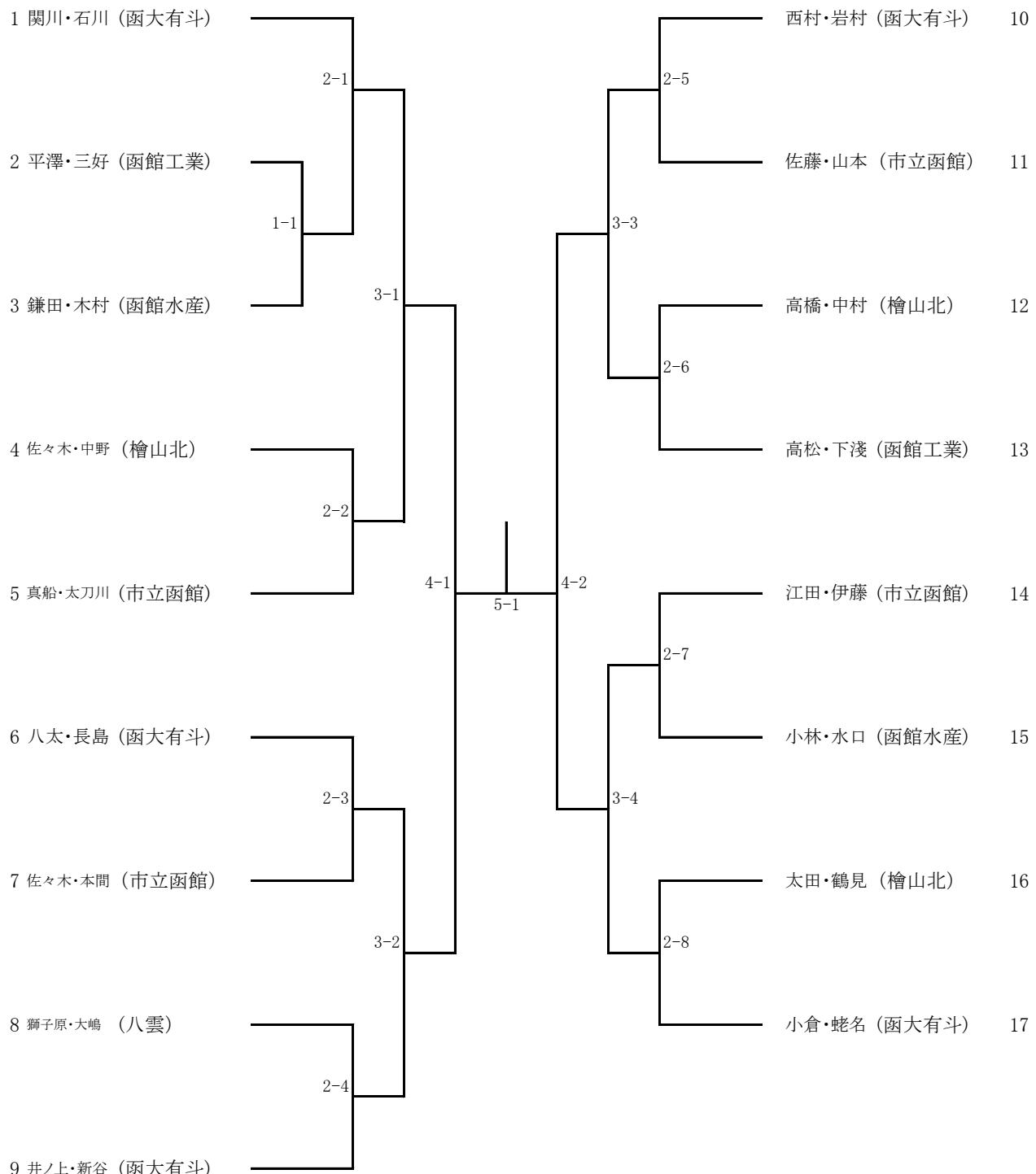
開 式 宣 言
優 勝 杯 返 還
大 会 長 挨 捶
選 手 宣 誓
競 技 上 の 注 意
諸 連 絡
閉 式 宣 言

【閉 会 式】

開 式 宣 言
成 績 発 表
優 勝 杯 並びに賞状授与
大 会 長 挨 捶
閉 式 宣 言

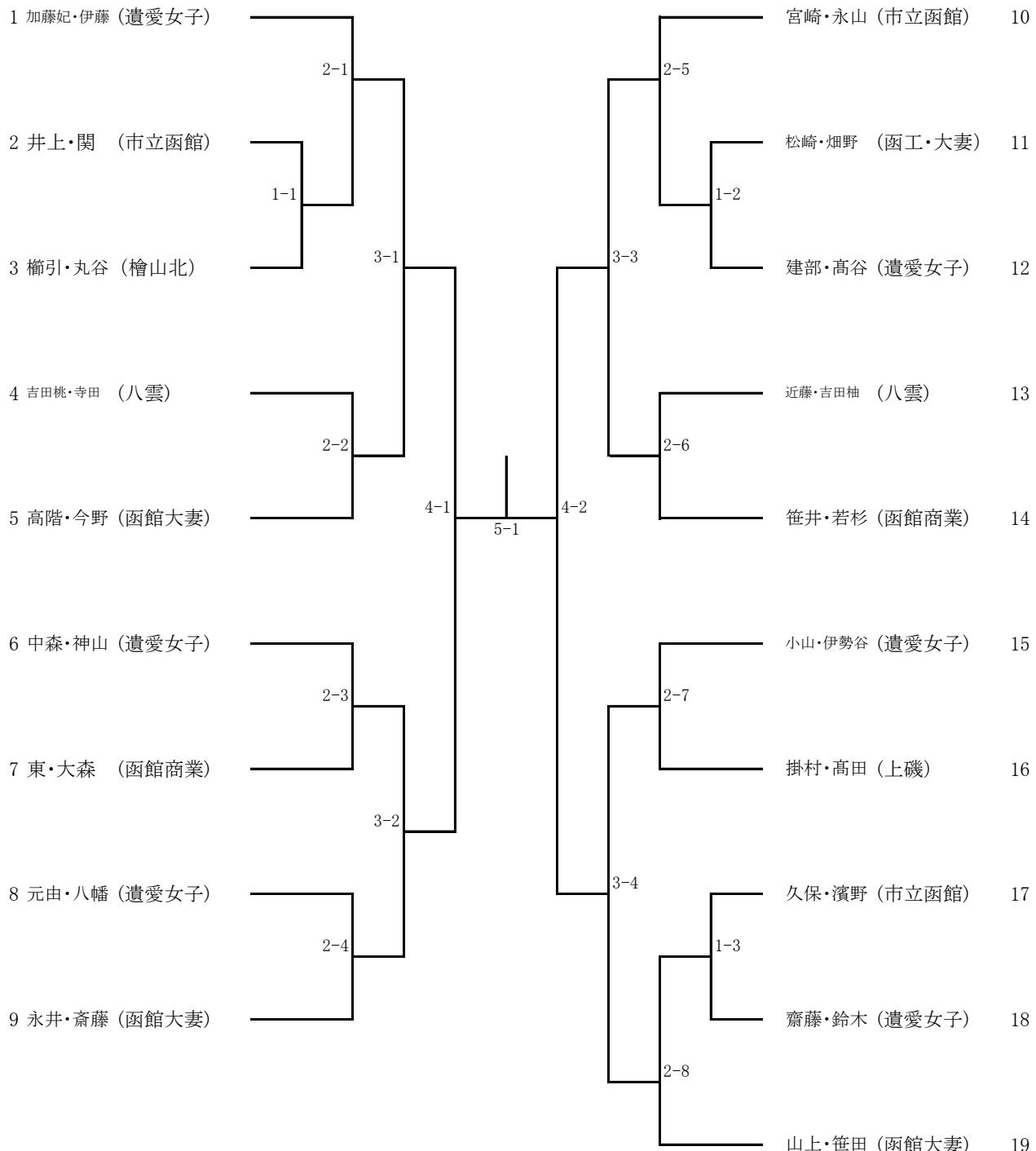
第52回南北海道高等学校選抜インドア大会
令和8年度2月1日
函館サーモン・まるなまアリーナ

男子ダブルス



第52回南北海道高等学校選抜インドア大会
令和8年2月1日
函館サーモン・まるなまアリーナ

女子ダブルス



進行予定表

	男子		女子	
	1コート	2コート	3コート	サブアリーナ
10:00	1-1	2-5	1-1	1-2
10:30	2-2	2-6	2-2	1-3
11:00	2-1	2-7	2-1	2-5
11:30	2-3	2-8	2-3	2-6
12:00	2-4	3-3	2-4	2-7
12:30	3-1	3-4	3-1	2-8
13:00	3-2	4-2	3-2	3-3
13:30	4-1		代決	3-4
14:00	決勝		4-1	代決
14:30				4-2
15:00			決勝	

【個人戦競技上の注意】

- 1 競技は、日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」による。マッチは7ゲームとする。
- 2 コート割りならびに進行の予定は別表の通りとするが、進行状況に応じて変更することがある。
- 3 原則として試合前の呼び出しありは行わないで、次の試合のプレーヤーは、進行に十分注意し所定のベンチに入ること。前の試合が終了し、アンパイラーがコートに到着後、5分経過ごとで警告1回とし、3回を持って失格とする(15分経過で失格)。
- 4 ベンチは、審判台から見て左側を組み合わせ番号の若いほうとする。
- 5 できるだけテニスコートから遠く離れないこと。やむを得ず遠く離れる場合は、事情を本部に述べて相談すること。
- 6 マッチ開始前の練習は1分以内とする。ただし、進行状況で省略することがある。
- 7 マッチ中はアンパイラーの指示に従いプレーすること。
- 8 マッチ中は、連続的にプレーすること。
- 9 マッチ中は、相手が不快になることを言ったり過度のかけ声をかけたりすることは禁じられる。その他コートマナーをよくすること。
- 10 アンパイラーに対する異議の申し立てはできない。
- 11 マッチ中のコーチは、サイドのチェンジおよびファイナルゲームに入る場合の1分以内で、そのコートのベンチにおいてのみ認められる。コーチする者は「監督・顧問」(学校の教職員であること)とし、次の各項を守らなければならない。
 - ① ベンチに入る者は1名とする。
 - ② ベンチを離れてコーチすることはできない。また、マッチ終了前に離れた場合は、戻ることができない。
- 12 各種警告(イエローカード)が3回に及んだ時は、失格(レッドカード)となるので、特に注意すること。
- 13 競技用具並びに服装は、大会要項に示されていることを守ること。選手は背部に日本ソフトテニス連盟指定のゼッケンを着用すること。なお、必ず四隅を止めること。
- 14 選手変更は所定の用紙を用い、到着後ただちに監督が競技委員長に届け出て、承認を得ること。
- 15 各コートの2回目の試合からは敗者審判とする。ただし、試合進行上大会本部が指示することもある。